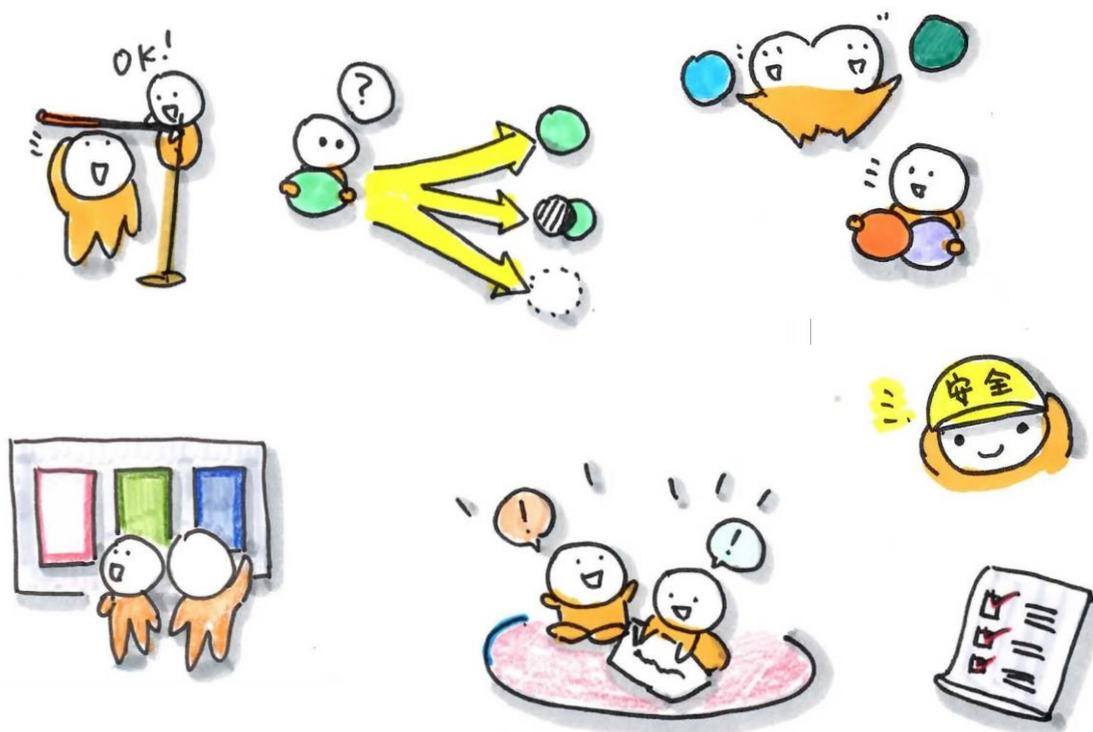


公共施設マネジメント基本計画の策定に係る

第4回 対話の場

資 料



平成27年11月17日(火)

牧之原市自治基本条例推進会議

1 振り返り

(1) 第3回 対話の場

- 日時：平成27年10月23日（金）午後1時30分から午後4時30分
- 会場：相良総合センター い〜ら
- ワークショップ

テーマ①

「これまで話した大切にしたい視点のまとめ」

テーマ②

「分野別のありたい姿に関する意見を深める」

●話し合いの様子

大切にしたい視点

①未来志向、②賢く使う、③自分たちで、
④共感しよう、⑤まちづくりを考えよう
の5つの視点でどうですか？



「市民全体の覚悟・理解が必要」
などの意見が出た。

分野別のありたい姿



前回の意見のまとめを説明



グループの意見を発表

全体で投票
投票の結果は次ページ

●分野別の大事にしたい意見「投票結果」

行政・文化施設

テーマ ②	投票欄	テーマ ②	投票欄
■グループ名 ■名前 行政・文化施設 小田、森田×2、遠山、 名波、西尾		■グループ名 ■名前 行政・文化施設 はせがわ、鈴木、大石、 下村、石間、大石(まさゆき)	
① 「おっ」となるコンセプト	●●●●●	① 庁舎は“ひとつ”だよ	●●●●●●●●●●
② 用事が無くても人が集まる複合施設	●	② 市のイメージを引き出す庁舎	●
③ 市民活動が行いやすい文化施設	●	③ 人の心が豊かになる施設	
残しておきたいことを2つ		残しておきたいことを2つ	
④ 高齢者や障がい者に優しい行政づくり	①の4へ	④ 高齢者、子ども、一般の大人、誰が来ても分かりやすい、使いやすいデザイン	●●●●●
⑤ 全国初のノマド行政（コストダウン）	●●●●●	⑤ 見た目がカッコいい、でも機能美が大切	●

最多得票
1. 庁舎は“ひとつ”だよ
2. 「おっ」となるコンセプト
3. 全国初のノマド行政（コストダウン）

学校・体育・子育て

テーマ 学校・体育・子育て	投票欄	テーマ 学校・体育・子育て	投票欄
■グループ名 ■名前 グループ③ 高橋、名波、佐々木、 杉山、水嶋		■グループ名 ■名前 グループ④ 美女と侍 小倉、森田、武田、 西、加藤	
① 子育て支援の充実	●●●●●●●●●●	① 安全の確保に「お金」と「決断」が必要	
② 複合化	④の3へ	② ある物を賢く使う（プールの代わりに海）	●●●●●●●●●●
③ 安全（災害に強い施設）	④の1へ	③ 複合化すると、みんな集まって幸せだな♪	●●●●●●●●●●●●●●
残しておきたいことを2つ		残しておきたいことを2つ	
④ 魅力のある施設	●	④ ちょっと待った!! (ただ)まどめればいってもんじゃ ない!	
⑤		⑤ 牧之原らしい学校の規模ってどのくらい?	●●

最多得票
1. 複合化すると、みんな集まって幸せだな♪
2. 子育て支援の充実
3. ある物を賢く使う（プールの代わりに海）

コミュニティ・公園施設

テーマ	投票欄	テーマ コミュニティ・公園施設	投票欄
■グループ名 ■名前 グループ⑤ 赤堀、大井、山田、 木下、鈴木		■グループ名 ■名前 グループ⑥ 失敗をおぞれない!! だけどなるべく成功!! 鈴木、植田、神谷、 寺田、大倉	
① 海シンボリックな「牧之原中央公園」をつくる	⑥の4へ	① 施設の名称を子どもにもわかるよう、まず変える?	●●●●
② 現制度の相良・榛原地区の違いを統一しないと検討が難しい(コミュニティ施設)	●●●●●●	② 情報の送受信!!	
③		③ 心を育てる複合施設♡♡♡	●●
懸しておきたいことを2つ		懸しておきたいことを2つ	
④		④ ルンルン♪企業と協力 海と山シンボル公園	●●●●●●●●
⑤		⑤ 自然体験!!美術作品など展示しまわそう!!	

最多得票
1. ルンルン♪企業と協力 海と山シンボル公園
2. 現制度の相良・榛原地区の違いを統一しないと検討が難しい(コミュニティ施設)
3. 施設の名称を子どもにもわかるよう、まず変える?

保健福祉・観光産業

テーマ	投票欄	テーマ	投票欄
■グループ名 ■名前 グループ⑦ 澤入、田中、中村、今西、 長倉、栗田、林		■グループ名 ■名前 グループ⑧ 保健福祉・観光 金子、大石、秋野、板倉、 遠藤、小保、大畑	
① 海の公共施設の利用・活用法の検討をする	●●●●●●	① 施設の効率化	●
② 誘客を目的とした新しい観光のあり方を考える	●●●●●●●●	② インフラ整備(福祉施設の車両活用)	●●●●●●
③ 市内、市外へのアクセス(共有機関)の整理を考える	●●	③ 海を中心とした観光	⑦の1へ
懸しておきたいことを2つ		懸しておきたいことを2つ	
④ 海周辺の市の計画を知る!	1へ	④ 名物開発(スイーツ)	
⑤		⑤ 清潔感	●●●●

最多得票
1. 誘客を目的とした新しい観光のあり方を考える
2. 海の公共施設の利用・活用法の検討をする
3. インフラ整備(福祉施設の車両活用)

2 今日の進め方

(1) アイスブレイク

- ・みんなで地図を使って楽しく公共施設の位置を確認しよう。
- ・知らない施設の事をグループ内の知っている人から聞いてみよう。

(2) 今日のゴールの説明

○ワークショップ①

施設分類別の方向性を深めて、この会の方向性を整理しよう。

○ワークショップ②

グループメンバーを混ぜて、賢く使うことを横断的に考えてみよう。

(3) 施設分類別の方向性を深めよう！

- ・前回話した施設分類別の大事にしたい意見などを基に行政で検討した案を説明（市の施設の担当者からテーマ毎）
- ・今回は、テーマ毎に論点を絞って話し合う。

No	部会	話すこと
1	行政・文化施設	庁舎
2	学校・体育・子育て施設	学校
3	コミュニティ・公園施設	コミュニティ
4	保健福祉・観光産業施設	観光産業施設

庁舎や学校の方向性が見えると複合的に考えやすくなる。

- ・説明を聞いて、質問したいこと、感じたこと、付け加えたいことなどを書きだして、みんなで話し合おう！

(4) 賢く使うことを横断的に考えてみよう！

- ・施設分類別の方向性を踏まえて、考えるうえでの課題を説明

- まちづくりの拠点として、みんなが交流や活動しやすい相良庁舎、学校施設、コミュニティ施設の活用方法を考えよう！
- 海・シンボル公園を活かした観光を考えよう！

- ・課題に対して「楽しい利活用のアイデア」を書き出し、グループで共有したうえで、3つを選ぶ（残したいものがあれば他に2つまで）
- ・その意見を文章化し、全体で投票する。

第4回目は、まとめを見据えながら整理する会です。施設毎の方向性を深めながら、横断的に考えることに取組み、第5回でのまとめに繋がります。

この会の全体像が見えてきます。

3 参考資料（公共施設白書より抜粋）

○庁舎の状況

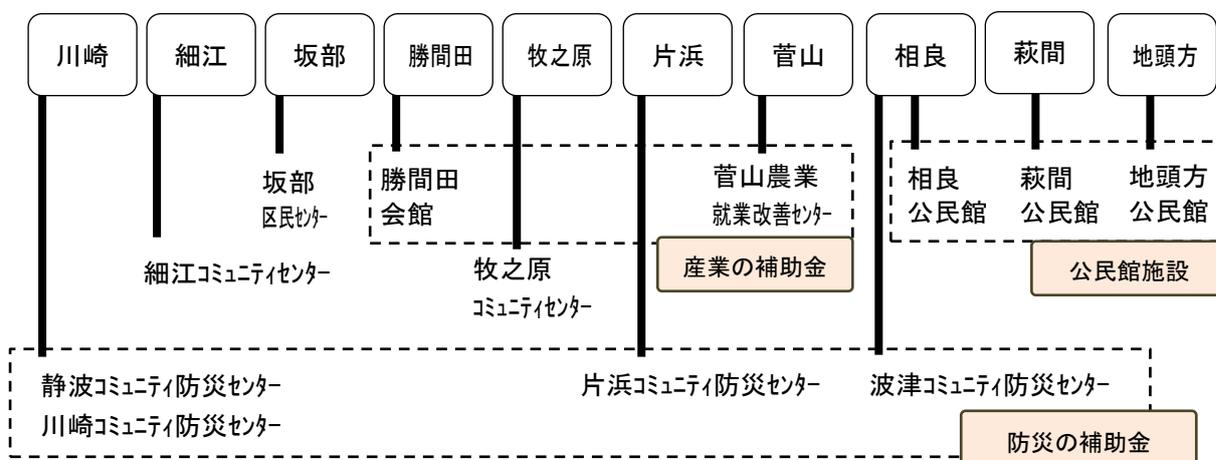
庁舎名	面積	職員数	建築年数	経過年数	棟数
榛原庁舎	8,318.0 m ²	124人	平成6年	20年	11
相良庁舎	6,061.1 m ²	116人	昭和60年	28年	4

○学校施設の状況 ※組合立を除く。児童生徒数は、各年度5月1日現在の人数

学校名	児童・生徒数		延床面積	建築年	経過年数
	S55	H26			
相良小	1,073	566	8,239 m ²	昭和59年	30年
片浜小	155	34	3,898 m ²	昭和60年	29年
菅山小	181	142	3,803 m ²	昭和56年	33年
萩間小	305	120	3,581 m ²	昭和40年	49年
地頭方小	461	225	4,625 m ²	平成2年	24年
川崎小	953	436	6,533 m ²	昭和43年	46年
細江小	606	493	5,934 m ²	昭和45年	44年
勝間田小	266	139	3,579 m ²	昭和39年	50年
坂部小	219	96	3,211 m ²	昭和37年	52年
小学校全体	4,219	2,251	43,403 m ²	—	—
相良中	698	456	10,372 m ²	昭和50年	42年
榛原中	836	600	10,650 m ²	昭和47年	39年
中学校全体	1,534	1,056	21,022 m ²	—	—

○自治会制度と施設

【10の小学校区と拠点施設】



【基礎的な自治組織】



※防災や産業の補助金を活用した施設も実際はコミュニティセンターとして利用している。
 ※公民館は、市全体の生涯学習の拠点施設。相良が本館、萩間、地頭方が分館

【自治会組織のあり方】 地区長会からの提言の内容

- ・ 小学校区 10 地区で構成する「地区自治推進協議会」を設立
- ・ 小学校区の単位で、地域で活動する人達の連携・協力、地域の課題解決に向けた住民の主体的参加、住民の合意形成、市政への市民参加などを進める組織

○施設の状況

【公民館施設】

名 称	延床面積 (㎡)	建築年	経過年数
相良公民館	1,846.6 ㎡	昭和 49 年	40 年
地頭方公民館	551.9 ㎡	昭和 60 年	29 年
萩間公民館	456.3 ㎡	昭和 55 年	34 年

【コミュニティ施設】

名 称	延床面積 (㎡)	建築年	経過年数
細江コミュニティセンター	1,140.0 ㎡	昭和 62 年	27 年
牧之原コミュニティセンター	487.0 ㎡	昭和 62 年	27 年
勝間田会館	639.0 ㎡	昭和 59 年	30 年
静波コミュニティ防災センター	1,192.0 ㎡	平成 8 年	18 年
川崎コミュニティ防災センター	517.0 ㎡	平成 3 年	23 年
相良コミュニティ防災センター	419.0 ㎡	平成 2 年	24 年
大江コミュニティ防災センター	392.0 ㎡	平成 9 年	17 年
片浜コミュニティ防災センター	419.0 ㎡	平成 11 年	15 年

※ 静波コミュニティ防災センターと川崎コミュニティ防災センターは、消防団詰め所との複合施設

※ 坂部区民センターは、坂部区が所有

○施設の状況

名 称	延床面積 (㎡)	建築年	経過年数
塩づくり体験施設	79.5 ㎡	平成 15 年	11 年
観光物産・案内センター	692.0 ㎡	昭和 57 年	32 年
子生まれ石休憩施設	77.0 ㎡	平成 7 年	19 年
榛原ライフセービングハウス	160.0 ㎡	平成 14 年	12 年
相良ライフセービングハウス	399.6 ㎡	平成 4 年	22 年
坂部振興センター	498.2 ㎡	昭和 55 年	34 年
農村の家	386.0 ㎡	昭和 61 年	28 年

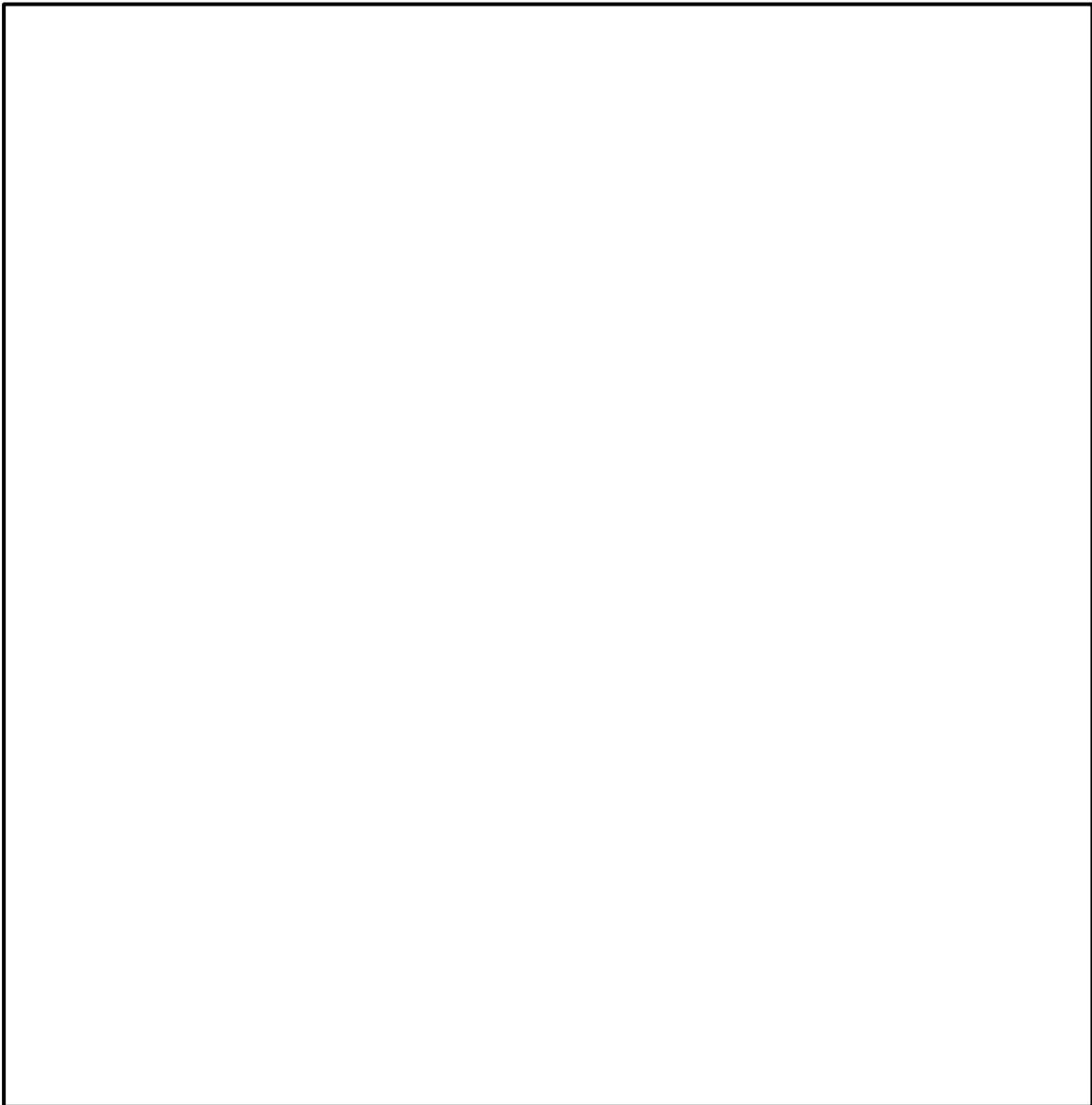
※農村の家は、1 階は農産加工・調理実習、2 階は放課後児童クラブとして使用

4 連絡事項

次回は、12月17日(木) 午後1時30分から4時30分

会場は、史料館(牧之原市相良275-2)です。

【メモ欄】



【事務局】

牧之原市政策協働部地域創生課(本間直樹)

電話: 0548-23-0053 FAX: 0548-23-0059

E-mail: seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp